



食育啓発ブース



食育おりがみ体験



林先生 店内を見学

「土地の物を食べよう」
TVでおなじみ 林さん講演

テレビ番組などで知られる元辻学園調理技術専門学校校長の製菓・製パン教授、林裕人さん(61)の講演会。『食』の楽しみ幸せの素が、紀の川市のJA紀の里ファーマーズマーケット「めっけもん広場」で開

ユーマを交えながら「食」について講演する林さん。紀の川市

かれ、大勢の市民らが聞き入っていた。林さんは現代人が「食べ過ぎの傾向にある」とした上で、「生きるための食べ物」と「欲の食べ物」があると説明。「春には芽吹き、秋には実りの物を」と、季節の食材を食べることをすすめる。「これらを

産経新聞
 平成 28 年 3 月 5 日



最優秀賞を受賞した「地産地消のまごわやさしい、バランス弁当」

JA紀の里「お弁当コンテスト」
最優秀賞に和歌山市・野田さん
「まごわやさしい」レシピ

食育について考えてもらおうと、一般家庭などを対象に募集したJA紀の里主催の「お弁当コンテスト」の表彰式が、紀の川市のファーマーズマーケット「めっけもん広場」で行われた。県内外から応募のあった132点のうち、最優秀賞には和歌山市の会社員、



賞状を受け取る野田さん(右から2人目) JA紀の川市

野田知世さん(35)が考案した「地産地消のまごわやさしい」バランス弁当」が選ばれた。同コンテストはJA紀の里が初めて企画し、昨年10月から2カ月間にわたって募集。和歌山信愛女子短期大

学で栄養学などを教えている藤澤祥子審査委員長らが、寄せられた作品のレシピや写真、弁当への思いを審査し、最優秀賞など7点を選んだ。

食育イベント「めっけもん広場」が開かれた「めっけもん広場」で行われた表彰式では、受賞者に賞状などが贈られた。最優秀賞を受賞した野田さんは、「豆」や「ゴマ」「ワカメ」などの頭文字を取った「まごわやさしい」の食材を意識して、県産の野菜などを使ったレシピを考案した。「お弁当作りが好きで、ほぼ毎日作っています。短期間で考えたレシピだったので、まさか最優秀賞をいただけるなんてびっくりしました」と笑顔。また、藤澤委員長は「いろいろな思いが詰まった弁当が集まり、どれも良くて、審査員を悩ませました」と話していた。

産経新聞
 平成 28 年 3 月 9 日